

## 平成16年度 … 機運の高まり

本川BOD値  
環境基準レベル  
を下回る

大和川付替え300周年

大和川クリーン  
キャンペーン20周年

流域住民と行政とのパートナーシップ

「大和川水環境サミット」  
「生活排水対策社会実験」

意識の変化

- ・やればできる
- ・また行ってみたい
- ・またやってみよう
- ・思ったよりきれい
- ・結構自然豊か など

## 平成17年度 … 継続・輪を広げる

・機運の高まりを一過性のものにならない  
・奈良県域等にも輪を広げる

大和川を知ってもらう

- ・HP(YK-NETの充実(携帯サイト))
- ・ラジオ放送「人・ゆめ・未来 大和川」
- ・CDST(出前講座)
- ・防災・減災フォーラム2005
- ・大和川博士講座 など

実際に活動する

- 民間主体の取組が活発化
- ・大和川河口祭
  - ・生活排水対策社会実験
  - ・清掃活動
  - ・大和川水防・大阪府  
地域総合防災演習 など

将来のことを考える

- ・水環境協議会設立
- ・大和川環境整備連絡協議会  
(奈良・港湾)の広がり
- ・子ども座談会
- ・タイムカプセル埋設式
- ・大和川交流会(仮称) など

課題  
・フォローアップが重要  
・推進体制が必要

## 平成18年度 … 行動に移す

大和川水環境  
サミット

大和川サミット

- ・Cプロジェクト
- ・河川整備基本方針
- ・河川整備計画

流域委員会

- ・水環境協議会
- ・環境整備連絡協議会
- ・沿川整備協議会
- ・総合治水対策協議会
- ・水防連絡会(上流・下流)
- ・洪水予報連絡協議会

大和川ネットワーク(仮称)  
推進する母体

民間が活動  
しやすい場  
(情報、機会、場所等)

流域全体の連携  
(地域、世代、  
分野間の交流)

情報の共有  
(情報収集、発信等)

行政  
支援

・大和川水辺まつり(仮称)

・亀の瀬河道閉塞に対する大規模危機管理演習

## 平成20年度 … 裴世清来朝1,400年

推古16(608)年の日本書紀の記事では、遣隋使小野妹子を送って来朝した裴世清(はいせいせい)ら一行が難波津から舟で大和川をさかのぼり、初瀬川から三輪山麓の海石榴市(つばいち)に上陸、飛鳥の宮に至ってから1,400年になる。

## 平成22年度(2010年) … 平城遷都 1,300年

生命・財産を守る安全で安心な大和川

次世代に伝える美しい大和川

地域を育む豊かな大和川

大和川の再生 = 地域の誇り

## 大和川の平常時の水量と同程度の水量が木津川と吉野川から

- ・奈良県の人口の9割の方々が暮らす奈良盆地。
- ・奈良盆地には、157本の大和川の支川が流れる。
- ・また、その奈良盆地の水は、全て亀の瀬に集まる。
- ・奈良盆地に降る雨は少ない。その量は約5.5億 $m^3$ 。
- ・年間降水量は、約1,300mm(全国平均約1,700mm)。
- ・洪水の時に大阪湾に流れてしまう水の量は約6割。
- ・従って、平常時に流れている水の量は、約2.5億 $m^3$ 。

- ・一方、木津川から水道用水として約0.7億 $m^3$ 。
  - ・吉野川から水道用水や農業用水として約1億 $m^3$ がもたらされている。
  - ・合計 約1.7億 $m^3$ 。
  - ・この水道用水や農業用水は、一度使った後に大和川の水源となる。
  - ・この使った水を再生することが重要。
- ⇒水環境再生の重要な取り組み。



